

地震や火災から京の地域・すまいを守る

かんしん

感震ブレーカー



京都市
CITY OF KYOTO

感震ブレーカー設置補助
最大7万円または5万円

エアコン・IH クッキング
ヒーター 設置など
古くなった分電盤の
更新時がチャンス!

京都市の補助金があります!

昭和56年以前の木造住宅を対象に、
感震ブレーカーの設置工事費用を最大で
5万円補助します。(密集市街地は最大7万円)



通電火災に注意!

大地震の時、電気製品の電源コードなどが損傷することがあり、この状態で停電から復旧、再通電すると発熱発火につながります。

※ ほかにも、ストーブが転倒したまま再通電し、洗濯物に触れて出火するなど、様々な事例があります

対策には感震ブレーカー!

通電火災を防ぐためには、避難の時にブレーカーを切ることが効果的です。しかし、非常時に必ず操作できるとは限りません。

感震ブレーカーは、センサーが地震の揺れを感知し、電気を自動的に止める器具です。

※ 震度5弱以上の揺れを感知した数分後に、自動遮断します

補助金の詳細は裏面をご覧ください ▶▶

感震ブレーカーの種類と特徴

京都市が最大 **7万円** 補助!

他にもこんなタイプが!

分電盤タイプ (内蔵型)

補助対象



分電盤にセンサーが内蔵されたもの

費用 約5~8万円

※ 工事費別途 (約2~15万円)

分電盤が古くなったり、エアコン等を新設する際に、ご検討ください

分電盤タイプ (後付型)

補助対象



分電盤に感震機能を外付けしたもの

費用 約2万円

※ 工事費別途 (約2~7万円)

コンセントタイプ

コンセントにセンサーが内蔵されたもの

埋込型 (壁面に取付) ※ 工事要

タップ型 (コンセント差込み) ※ 工事不要

費用 約5千円~2万円

※ ブレーカーを切ることはできない

簡易タイプ

ばねや重りの落下等の作用によりブレーカーを落とすもの

費用 約2千円~4千円

※ 工事不要

※ 密集市街地 (21地区) 及び「路地・まち防災まちづくり計画」区域 (7地区) は最大7万円、それ以外の区域は最大5万円を補助

耐震・防火改修支援事業「まちの匠・ぷらす」

対象の建物

京都市内にある木造の一戸建て住宅、長屋で
昭和56年5月31日以前に着工した建物

補助金額

① 補助対象工事費用の $\frac{4}{5}$ ② 補助限度額 (5万円または7万円)

▶ ① ② どちらか少ない方の額が補助金額

申請期間

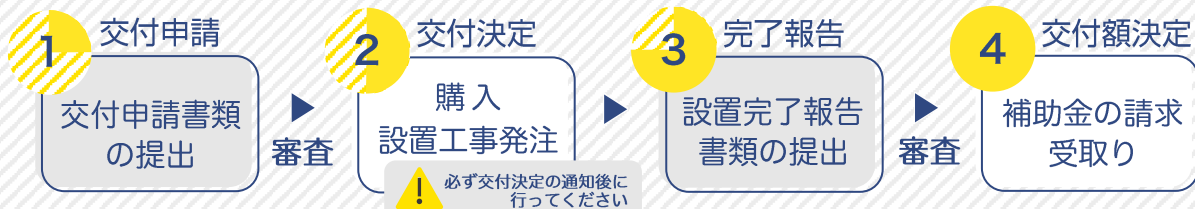
2026年4月13日 (月) から 2026年12月25日 (金) まで

申請方法

京安心すまいセンターへ必要書類を持参または郵送

購入・発注前に申請が必要です

すでに購入または設置工事を発注したものは補助対象外です



問合せ・申請先



感震ブレーカーへの補助の詳細
密集市街地に該当する区域については

京都市 感震ブレーカーで検索!

電話 075-744-1631

開館時間 午前9時30分~午後5時

FAX 075-744-1637

休館日 水曜・祝日・第3火曜
及び年末年始 (12/29~1/4)

所在地 〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上の梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階

バス 市バス 4・7・205号系統
「河原町正面」下車

電車 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分